

# 日本救急医療財団の活動報告

平 賢 二 事務局長

2019年8月中旬から10月上旬までの財団の活動について報告します。

## 総務部門に関する報告

仁平 正行 総務部

### 1. 「救急の日2019」について

厚生労働省・消防庁・一般社団法人日本救急医学会・一般財団法人日本救急医療財団が主催団体として本年も「救急の日2019」を9月8日（日）に昨年と同じ場所、アクアシティお台場・3階「アクアアリーナ」で開催しました。平成3年に始まり今年で29回目となります。

このイベントの目的は、令和元年9月の「救急の日」及び「救急医療週間」の記念行事として実施されたもので、国民の救急、防災に対する意識を高めるために、救急・災害現場で活躍している医療関係者、救急隊員、救急救命士、ボランティア等の活動を広く国民に知らせることにより、救急医療、救急業務、小児救急、災害救助等に対する正しい理解の普及向上を目的としており、「救急蘇生法」は、誰でも参加して「いざ」というとき、誰もが応急手当を行うことができるように体験していただくことのできるコンテンツで行われました。会場には、一日を通して約1,800名の方が来場しました。

ステージイベントとして

・日本赤十字社指導員による

「あなたの勇気が命を救う！ハートラちゃんと一緒に体験しようAED」

・日本AED財団「減らせ突然死プロジェクト実行委員会」による

「子供たちへのカンタン救命講座」

・全国救急救命士教育施設協議会組織校「東京医薬専門学校・帝京平成大学」による

「未来の救急救命士が繋ぐ、救命の輪！（救急救命処置シミュレーション）」

また、日本AED財団による「AEDを探そう」のイベントも実施されました

### 【アンケートに寄せられた声】

「突然死を防げるよう啓発して欲しい」「子供連れが多かったと思います、学校でもAEDを取り上げているおかげでしょうか」「AEDについて復習が出来ました」「AED設置何処にあるか分からない、普及率を上げて欲しい」「大変勉強になった」「子供が参加できるものを」「見やすく良かった」「必要なイベントだと思うし、継続して行って欲しい」「使用方法を多くの人に知らしめてほしい」「各地で行っていただきたい」「実際の救急救命士さんの話を取り上げてほしい」「AEDに種類があることを初めて知った」「AEDのデザインが各社ばらばらなので使うときに戸惑いそうです、統一性のあるデザインが必要ではないか」「必要と思いつつあまり接することがないので、勉強になりました」「実際のトリアージの判断基準はどのようなものか知りたい」「AED

の説明がとても分かり易かった」「最近では AED を設置されたビル、公共施設が増えているのを見ると安心していましたが、実際 AED の使い方や、何が出来る機械なのか、一度講習を受けてみたいとずっと思っていました、このようなイベントを増やしてほしい」「救急救命時の医療についてさらに詳しく知りたいです」「BLS の実施を一般の方に体験させるコーナーを取り上げてほしい」「Very nice, thanks」「来年もお願いします」

※台風 15 号に影響により交通機関の遅延、運休等があるためにステージイベントの終了を待って、「救急の日 2019」イベントを終了した。

## 研修研究部門に関する報告

風間 和則 研修研究部

### 1. 看護師救急医療業務実地修練について

全国から推薦された 68 名の看護師が、令和元年 8 月 26 日（月）から 8 月 30（金）までの 5 日間、リロの会議室田町会場において合同研修を実施し、さらに、9 月 30 日（月）から 10 月 4 日（金）までの 5 日間、全国の（高度）救命救急センターを持つ 20 病院に分かれての施設研修を実施しました。

合同研修では、「救急医療の現状」、「救急に必要な安全管理（感染管理も含む）」、「脳卒中（ISLS、PSLS）」、「循環不全」、「院内急変対応」、「熱傷」、「ER の現状」、「意識障害 CEC、PCEC）」、「ACS」、「災害看護学概論」、「災害医療概論」、「小児医療」、「臓器不全・血液浄化法」、「グリーンケアと DMORT」、「救急患者への対応と緊急度判定」、「急性中毒」、「ドクターヘリにおけるフライトナース」、「高齢者医療」、「精神病状を持つ患者へのアプローチ」、「呼吸不全」、「脳死と臓器移植」の講義の他、「災害医療の現状・災害トリアージ・DMAT」、「救急（院内）トリアージの実際」、「自施設の救急医療の課題検討 私の施設の救急で困っていること」、「JNTEC の実技」の各ワークショップを通して、救急医療の実際、最新の情報を学ぶとともに、受講者相互の活発な情報交換があり、連帯感が深められました。

施設研修では、実際の救急医療現場で救急処置室の見学、（高度）救命救急センター及び救急 ICU 等での研修、救急外来（初療室や ER）における救急患者のトリアージ等の研修を実施しました。

### 2. 医師救急医療業務実地修練について

令和元年 9 月 12 日（木）から 9 月 13 日（火）までの 2 日間、全国の（高度）救命救急センターを持つ 15 病院に分かれて施設研修し、9 月 18 日（水）から 9 月 20 日（金）までの 3 日間、東京都港区のリロの会議室田町会場において、医師救急医療業務実地修練を実施しました。

受講対象者は、二次・三次救急医療施設等に勤務し、救急の第一線で活動している者（日本救急医学会専門医（認定医を含む）またはそれと同等の知識、技術を有する者）であって、施設長の推薦する者となっており、今回は 42 名の受講者が参加されました。（直前の台風被害による災害医療への対応のため 3 名が施設研修を欠席、うち 1 名が合同研修も欠席）

研修の内容は、「小児救急医療」、「救急医療における病院前医療体制」、「救急医療と感染症情

報」の講義をはじめ、「救急医の法的問題」、「地域において救急医療施設が果たす役割（MCを含む）に関する事」の講義及びワークショップ、「救急部門の管理運営に関する事」、「災害・テロ対策に関する事」の各ワークショップを行い、特にワークショップにおいては、受講者自身の体験を踏まえた活発な意見交換が行われ、受講者の相互間での連帯感が深められ大変有意義な実地修練となりました。

### 3. 病院前医療体制における指導医等研修（初級者）大阪会場について

令和元年10月10日（木）から10月11日（金）までの2日間、大阪府大阪市の天満研修センターにおいて、病院前医療体制における指導医等研修（初級者）を実施しました。

受講対象は、3年以上の救急臨床歴があり、これからMCを始める医師、現在も救急隊員への指導・助言を行っており、オンラインでも指示をしている医師、救急救命士・救急隊員の病院実習に関して院内コーディネーター役となる医師、二次救急医療機関において救急医療を担当している医師であり、今回は49名の受講者が参加されました。

研修の内容は、「救急医療とメディカルコントロール」、「救急業務の担い手と医師の業務」、「メディカルコントロールに関わる組織と法的根拠」、「メディカルコントロールの現状と課題」、「オンラインで行う指示、指導・助言」の講義・ワークショップ、「医師が出動する医療でのMC」、「プロトコルの読み方・使い方」の講義・ワークショップ、「検証とフィードバック」の講義・ワークショップ、「病院実習における教育」の講義・ワークショップを行い、ワークショップでは活発な意見交換がなされ、研修の最後に講義内容等の理解・復習を目的としてテストを行い大変有意義な研修会となりました。

## 試験部門に関する報告

徳竹 伸重 試験免許部

### 1. 第43回救急救命士国家試験の施行

第43回救急救命士国家試験の施行が、令和元年9月2日に官報、厚生労働省及び財団のホームページに掲載されました。

概要は次のとおりです。

試験期日 … 令和2年3月8日（日曜日）

試験地 … 北海道、東京都、愛知県、大阪府、福岡県

願書受付 … 令和2年年1月6日（月曜日）～ 同年1月24日（金曜日）

合格発表 … 令和2年3月31日（火曜日）午後2時

受験手数料 … 30,300円